

和光 100 年まちづくり会議 第 1 回・第 2 回開催結果について

1. 開催概要

開催回	開催日時	ねらい（目的）	プログラム概要	参加者数
第 1 回	9 月 1 日 （日） 10～12 時	・ 市民、職員の「みんなでつくる」という意識を高める。 ・ 総合計振興計画のコンセプトや将来像、目指すべきまちの姿などを描くための意見やアイデアを出す。	・ ワーク①では、5人で1チームをつくり、円形ダンボールを膝の上に置いた状態で、「50年後の和光市」をイメージする。イメージは意見としてポストイットに書いて円形ダンボール上に張り出し、チーム内で発表する。この作業を席替えしながら3ラウンド行い、幅広い意見に触れる。 ・ ワーク②では、4つのコーナーがあり、それぞれ異なるテーマを掲げている。その中で自分が関心のあるテーマを選び、これから10年で行政や市民が取り組むべきことについて意見交換する。ワークの一部には、後藤先生や松本市長も参加し、全体の総括コメントをいただいた。	市民：45 名 職員：24 名
第 2 回	10 月 6 日 （日） 10～12 時	・ 第1回で50年後のイメージや各分野の課題が意見として出された。 ・ これらを踏まえ、第2回では「まちづくりのコンセプト（将来都市像）」や「市民生活の目標像」を描くための素材（キーワード、フレーズ）を検討する。	・ ワーク①では、人生ゲームカードに書かれた様々なステージ（境遇）で、自分ならどのように行動するかを考え、最も考えに近い選択肢を選び、番号の旗を上げる。 ・ ワーク②では、現在または将来、この地域で暮らしていくうえで最も重要だと思うカードを全カードの中から3枚選びチーム内で発表・意見交換する。出された意見等をもとに、「和光市で将来叶えたい生活像」と「和光市が目指すまちをシンプルに言い表したキーワード」をチームでまとめる。 ・ ワーク③では、まとめた生活像とキーワードを全体に発表する。	市民：33 名

2. 当日の様子

□第 1 回



熱心に意見を発表する参加者



関心のあるテーマに分かれて意見交換



市長自らもワークに参加



後藤先生による講評

□第2回



それぞれの旗を上げる参加者



出されたカードについて意見交換を行う



熱のこもったチーム発表



一面に張り出された各チームの成果

3. 第1回まちづくり会議

□第1回プログラム

50
10

和光の未来 イメージワーク

和光 100 年まちづくり会議
キックオフミーティング
2019.9.1

10:00-10:10

1 はじめに

- 今回のワークショップの主旨説明とスタッフの紹介を行います。

10:10-10:45

2 ワーク① 50年後をイメージする

- 円形ダンボールを使ったワークショップです。
- 50年後の和光市のイメージを自由に語り合しましょう。
- 途中、メンバーの入れ替えがあるので、いろんな方と顔見知りになりましょう。

10:45-10:55

3 発表と共有

- いくつかのチームから、出された意見について発表していただきます。

10:55-11:30

4 ワーク② これから 10 年を考える

- 4つのテーマに分かれて、これから10年で行政や市民が取り組むべきことについて意見交換を行います。
- 関心のあるテーマについて、意見をポストイットに記入して出しましょう。
- テーマは途中で移動することも可能です。
たくさんのご意見をお願いします。

11:30-12:00

5 発表・まとめ

- 4つのテーマごとに、進行役から内容を発表します。

次回

第2回 和光 100 年まちづくり会議

「和光市の将来像とまちづくりの方向性を考える」

日時：10月6日（日）10:00～12:00

場所：和光市役所 602 会議室

□第1回ワーク①（50年後をイメージする）の結果

駅／路線／駅ビル／駅周辺

○和光市駅拡大 ○和光市2つ目の駅誕生 ○駅の増設 ○大江戸線 ○大江戸線と和光市駅がつながってくる？ ○東西に電車が通っていてアクセスがしやすくなっている ○和光市駅、始発ずっと！ ○和光市駅がずっと始発・終電駅であってほしい ○駅乗り換え混雑なくなる？ ○東武・メトロの駅ビル建設が複雑 ○駅まわりの整備が進んでいる？ ○駅北口の開発が進んでいる ○駅周辺に地下道

商店／商業／買い物／にぎわい

○～通りという（例えば酒場）楽しい駅前の街 ○駅を中心に放射線状に、ex) 菓子屋横丁、生活用品通り etc … ○駅の周り以外も栄えている！ ○バラエティ豊かな個人商店が多く活気がある街 ○複合型ショッピングモールに商店街も入れて ○何でも買えるまち ○買い物、自然…etc ○人がにぎわう町 ○人が多く集まり、にぎやかなまち ○たくさんの人が来るにぎやかなまち

マンション／開発／空間利用／土地利用

○マンションが増える ○マンション等、高い階の建物を造らせないで下さい ○住宅やマンションの密集化をどう防ぐか ○東京の住宅地ではない ○このまま秩序ない開発（宅地化）が進むと50年後には和光はスラム都市になる。これは困る。 ○50年後にスラム街にならないように！ ○空き地増える？→有効利用→何？ ○空き家増える？どう活用するか？ ○資材置き場問題（北側） ○北側、資材・産廃がなくなる ○水・川の利用、北側を意識的計画的に市民とともに開発して、大きな公園に、豊かな緑、人が落ちついて行きかうゾーンになっている ○自衛隊の基地が縮小している ○米軍の土地が返還され、使える土地が増える

研究機関／企業／誘致／連携

○理研、ニホニウム ○ニホニウム、理研 ○ホンダ ○ホンダ、F1 ○F1、ホンダ工場 ○企業誘致 ○企業との連携 ○企業提携、工場移転が地方なら本社は和光に！ ○荒川の方側に企業の研究所や大学が誘致されている ○つくばのように研究都市になっている、23区の一歩近くで

場所／施設／公共施設／市庁舎

○子どもから大人までみんなが交流できる公共の場所 ○子供連れが一休みできる場所が多くある町 ○みんなでごはんを食べられる場所 ○ストレス解消できる施設が充実 ○公共施設の充実 ○和光スポーツアイランドがどんな方も利用しに来てくれる施設になるといい！ ○成増図書館使える♥ ○清掃センターは朝霞に行っているか？ ○ゴミ処理は和光？朝霞？ ○市役所が建て替わって、より便利になる ○市役所が複合施設に ○市役所庁舎なくなっている

道／道路／歩道／安全／電柱

○狭い道を整備する！ ○狭あい道路の解消 ○歩きやすい歩道 ○広い歩道の整備 ○ゾーン30 やりたい＜浅久保通り＞ ○道路の安全面アップ ○バリアフリー化（道路など） ○車移動ではなく、自転車メインで移動できる道の充実 ○電柱をなくす ○電柱地中化

地形／坂／坂道

○坂を生かした町づくり ○傾斜を活かした町づくり ○坂道は文化、チャリで電気を起こせ ○高低差で発電！ ○南←→北、平地になる

移動／交通／移動技術

○誰でも移動しやすい町 ○スムーズに移動できる手段がある（どこでもいける） ○移動する手段の整備ではなく、インフラの整備 ○自動車の必要の無い街 ○渋滞が減る ○駅まで楽に行けるようになる ○駅までの交通手段の充実 ○移動の自動車のようなもの市内や駅に、買い物 ○スムーズな移動手段、電気自動車 ○シェアサイクルが増えている！ ○デマンドバス ○オンデマンドで車（2人乗り）呼べる ○どこでものれる所にしたい ○和光市の交通網、狭い市を生かしてどこにでも行ける4人乗り合いの車、市民電車、高齢者も自由に動ける ○自動運転 ○自動運転で事故の抑制や安全な社会になる ○自動運転で乗り合い ○自動車がなくなり、皆がオートの乗物で移動できる街 ○50年後歩きやすい道、オートタクシー呼べばくる ○移動手段が空とか地下になる ○車と自転車の分離（地上・空） ○空を移動する車とか道路？ ○空飛ぶ車が飛んでいる！ ○空からアクセスできるまち ○空の交通特区、空飛ぶクルマ ○動く歩道の完備！！ ○全ての歩道が動く歩道になる ○ゴンドラのある町 ○坂の上から坂の上へリフト ○スカイエレベーター北と南 ○外環モノレール ○モビリティ、サブストラクション

水田／畑／農業／アグリビジネス

○水田を残す ○水田のある風景、米の花 ○河川敷を中心に田園が整備されて自然共生している ○畑を残したい ○畑を残したい ○畑が残っているといいな ○北口の畠を残して下さい、緑を多くして！！ ○都市農業が豊か ○子どもの農業体験が豊かな町 ○和光から日本の農業を元気に！ ○見せる農業 ○レストランと農場 ○アグリパーク遊べる農園 ○アグリビジネス／水耕栽培 ○農業が少なくなり、ビルの中で水耕栽培の野菜が増える！ ○田畑が建物内に

自然／保存／共生／融合／生物多様性

○自然ゆたかな ○自然とあふれる公園 ○自然が残るといい ○自然を残したい ○自然が残っている ○自然環境保存 ○自然を残した街づくり ○自然が豊かで、夏も涼しく過ごせる環境 ○安全安心を守るためにも自然と共生する街 ○自然共生（管理の行き届いた）利用できる、行きたくなる ○自然とまちの共存 ○自然の融合を更に ○自然と融合できている町 ○人工的に自然をつくる、のこす ○特徴的な自然、湧水、樹林公園など ○学校教育から親への環境教育を広め、自然と文化を守る ○市民や全ての人、土・水・木・川を豊かに利用 ○学校や市民と結びつく教育において身近な自然の大切さを認識する。文化と自然を大切に ○動物園とか植物園が出来ていて、生物多様性を実感できる

緑／緑地／緑化

○緑を守る ○緑を減らさない街 ○緑を大切に、環境をきれいに ○緑の多い街 ○緑が多い ○緑が多い ○緑を増やす、減らさない様に ○緑地や身近な自然を大切に残すまち。うるおいを残すまち ○緑豊かな街、空が広く感じられる街 ○緑地、湧水地の公有地化、保存を。練馬、板橋、朝霞に比べ、公有地化が少ない ○アンテナ基地を緑の憩いの場にしたい！ ○緑化、公園の充実、40年前と今と50年後、計画的に ○50年後も緑が多いまち

湧水／川

○湧水を残す ○第2の樹林公園、湧き水 ○湧き水、地下水、公園 ○湧水を残す、公園 ○和光の湧水を残す公園 ○湧水を50年後も町に残し、そこからにぎわいを ○川あそびが出来る町

公園

○公園と公園をつなげる ○樹林公園 ○樹林公園は木も草も花も豊か、人も笑顔です ○公園がたくさんある、お店もたくさん、公共交通 ○子供が楽しく遊べる広い公園

きれい／景観

○チリひとつ落ちていないきれいなまち ○電柱が地下にいき、きれいで歩きやすい街 ○景観 ○景観を美しく

環境／リサイクル

○光化学スモッグの発生しない空気がきれいな町 ○リサイクル・再生エネルギー先端都市に、再生エネルギーで100%まかなう ○最先端のリサイクルタウン！ ○光化学スモッグがない街 ○空気 etc 環境の良いまち

災害／防災／治安

○災害に強い街 ○災害に強いまちづくり ○災害に強いまち、防災 ○防災に強いまち ○防災を考えたまちづくり ○災害が起きても100年後も生き残れるまち！ ○水害と震災の避難場所は別なの ○犯罪0のまち ○犯罪がない安全なまち

自治体合併

○合併してもっと大きな市になる ○隣の朝霞や新座などを合流させて面積が大きくなっている ○「東京都??区和光町」と市名が変わっている（50年後には23区と合併しているかも） ○四市合併したら嫌だなあ？メリットは？ ○メリットは、ブランド強化、ゆるキャラ4人になる？！ ○合併デメリット、行政施設が遠くなってしまい不便

人口

○交通のハブとして人口（市民）が増加している ○人口増加、にぎやかな街 ○人口が10万人を超えている街 ○人口が減る ○人口は10万人！！ ○市の許容量、人＝容量保ちたい ○全ての年齢の方がまんべんなく増えている ○バランスの良い人口比

和光市ならではの／名産／名物／特徴／魅力

○わこうの名物 ○和光市に名物を！ ○全国区の名物 ○和光ならではの名物特徴をつくる ○和光市の名産のものがあえて欲しい ○和光市の魅力 ○わこうと言えば「○○」「○○」 ○和光市民全員が「和光と言えばコレ！」というものがある ○和光の特徴？？どこかわからない！もっとアピール！ ○和光の特色「ニホニウム通り」世界に無いよねー ○わこううちのくまもんどえ ○科学のまち（理研）に水 ○スカイツリー ○観光都市

歴史文化／地域文化／祭り／芸術／音楽／スポーツ

○古い良いところも残っているまち ○白子ばやし etc、文化の残っているまち ○でん山・越戸川残して ○田村屋残して！！屋敷森 ○まつり（地域交流） ○盆おどり ○テント張りの芸術会館を造り、色々な活動や美術など芸術が楽しめる街 ○芸術（文化）の街、映画館、音楽、美術 ○音楽にふれあえるまち ○誰もが音楽や芸術に親しめる街に！（駅にピアノがほしい） ○スポーツ（射撃） ○スポーツプレイヤーが増える街！ ○1964年、2020年に続いてオリパラが開催される

国際化／外国人／国際交流

○グローバル化、色々な国の人が住んでいる ○人口の外国籍化 ○言葉の壁なくなる ○言葉の壁がなくなっている ○外国人と関わるイベント ○外国の方など、多様な人に対応できる社会にしていきたい ○理研の外国人と交流できるまち ○国際的な人材がたくさんいる ○世界と交流する街 ○国際交流の要所 ○国際交流観光 ○世界の人が集う町

IT／電子化／情報／技術革新

○電子投票 ○電子投票 ○電子投票 ○オンライン住民票電子化 ○どこでも市役所手続き ○ネット ○誰でも情報共有できるような社会にしたい！！ ○技術的に先端をいく豊かな町 ○ドローン宅配 ○空を飛ぶ移動ドローン、センシング？ ○グローバル化、ロボット化、AI ○ロボットが普通にいる社会 ○ロボットがウロウロ ○人工的に自然を増やしている

働き方／在宅ワーク／テレワーク／仕事／起業／会社移転

○「在宅ワークで働く」で移動する人が少なくなるのでは？ ○在宅ワークが増えて交通（電車）の必要性が薄くなる ○在宅ワークがふつう、ラッシュなくなる ○在宅当たり前、通勤ラッシュなくなる ○テレワーク、在宅ワークできる（ワークライフバランスを自然に） ○テレワーク拠点が充実 ○通勤しない社会 ○仕事の種類も多様化、新しい仕事が生まれる ○雇われる以外の選択肢が豊富 ○スモールオフィス、若手起業家の誘致 ○地方に会社移転、和光にも移転してくる ○多様な仕事形態をサポートできる街へ ○仕事もプライベートも和光市で充実

人材／人物

○優秀な人材が豊富 ○人材を見つける ○人材豊富（バンク） ○活躍する人物

子ども・あそび・学び・学校・教育

○子どもが増える ○子どもがいっぱいいる街に！ ○子供がウジャウジャと多数いて、全員が笑顔の街 ○子どもがあそべる ○子どもがあそんで育つまち ○今後大切なのは子ども？ ○不登校0の子ども元気いっぱいな学校 ○競争と無意味な評価の無い学びの場が盛んです ○教育に住民が関われる ○教育制度が変わる ○義務教育の制度 ○キャリア教育 ○起業・育成（小・中～） ○幼稚園とか保育園も学校と一体化義務 ○小学校中学校、一体化 ○数学日本一の教育のまち ○教育の充実、生涯学習含む ○ITリテラシー

お年寄り／高齢者

○高齢者が増える ○年寄りばかりになっちゃう… ○年金が破綻、老人が貧しい ○高齢者が安心して歩ける街（道路ふくめて） ○さらに高齢化、元気なお年寄りがたくさん！！

人にやさしい／共生／共存／バリアフリー／人権

○ヒトに優しいまち ○人にやさしい和光、①バリアフリー内も外も、②ライフラインの地下化（埋没） ○人にやさしいバリアフリー、湧水の公園にぎわい、自動移動、自由に楽しめる買い物や自然 ○障害者もいっしょに暮らせるように ○障害者も一緒に暮らせるまち ○共生の姿が変わっているかも ○多世代の共存ができる ○子どもの人権も、全ての人の人権が大切にされる町

挨拶／コミュニケーション

○あいさつあふれる町 ○明るく（元気な）挨拶が交わせる街 ○赤ちゃんから高齢の方があいさつできて、顔を知っている、よりどころがある ○コミュニケーション促進の効果！ ○あちこちで井戸端会議のできる町

つながり／コミュニティ／仲間づくり／助け合い／支え合い

○和光市民がみんなつながっている ○何か子どもと大人のコミュニティ活性化 ○核家族ではなく、グループで住むような住環境になる ○仲間づくりを大切に ○ひとりぼっちにさせない、仲間づくり ○助け合いができる街 ○人々がもっと支え合う

交流／活動／参加

○年を取っても交流できるまち ○市民がのびのび活動できるまち ○市民がまちづくりに楽しく参加している

住みやすさ／生活しやすさ／利便性

○誰でも住みやすいまち ○住みやすい街として人口増加中 ○生活がしやすい町 ○子育て、介護、利便性、在宅、ショッピングモール、（商店） ○利便性よくなってほしい（坂多いし…）

安心／健康／医療

○安心してらせる町 ○安心して暮らせる街 ○安心して暮らせる街（医療、水…） ○安心して頼れる町にしたい ○子育て・介護・仕事の全てで安心なまち ○様々な年代の人たちが安心安全に暮らせるまちにできれば ○誰にでも命を救える ○健康で過ごせる街 ○健康で元気に暮らせる街 ○医療が進んでいる街

遊べる／過ごせる／楽しめる／楽しい

○子どもも大人も自由に遊べる街 ○市内で1日すごせる場所がある ○誰でも楽しく ○自由時間が楽しめるまち ○人口が少なくても楽しみのある街 ○みんなが楽しく住めて過ごせるまち ○楽しみ、にぎわい、お祭りやイベントで地域のつながり ○楽しめるまち、楽しいコト ○楽しいまちづくり

バランス

○南北問題解消 ○南北格差のない街に！ ○居住者と観光者をバランス良く受け入れる町 ○バランスのよい街 ○都会すぎず、田舎すぎない街

スロー／ゆるさ／寛容／のどかさ／静かさ

○息抜きできるまち ○ゆるい街、寛容な心 ○お店少ないけどゆるくて好き ○都心に近いのにスローライフ ○都心に近いのにスローライフが送れる ○のどかさが残っている ○都市とのどかさの共存、子どもにちょうど良い50年後残したい！ ○都心へのアクセスの良さを維持しつつ、静かな住環境もあわせ持つ

その他

○軍縮？徴兵制になっている ○オールニュー ALL NEW ○東京と一緒に町にしたい ○土地が安い、東京となり ○今の強み（交通の利便性）を活かすけど頼らない街づくり ○今の不便は明日の便利 ○財政に余裕のあるまち ○シェア社会 ○ボーダレスのまち ○女性の市長誕生 ○いつまでもいたいまち ○愛着をもち、大切にしたいと思えるまち ○町歩きが楽しい町 ○野生化 ○地域のニーズをいかに聞き出すか、どうまとめていく？ ○進歩するだけでなく、少し後ろを振り返る ○世の中の変化に対応できるまち（完成しないまち）

□第1回ワーク②の結果

テーマA 安全・安心（防災・防犯・交通安全など）

（防災）

【基本的考え方・情報】

- ▲避難所を考える（洪水と震災では違う）
- ▲情報の共有化
- ▲今の現状の情報（市の備蓄量）や危険地域などの共有・徹底
- ▲個別の家（家族）で「できる・すべき事」の共有
- ▲防災に対する意識の差（若年層が低い）
- ▲市の放送が（聴取のため）聞こえないので、聞こえるようにしてほしい
- ▲防災無線が聞こえにくい。指向性？

- ▲うるおいのあるまちと豊かな心が安全安心の根本
- ▲誰が住んでいるか分からない（防犯・防災）

【防災コミュニティ】

- ▲災害が起きたとき、知り合いや頼れる人が近くにいない
- ▲地域での交流、災害時の助け合い
- ▲災害時に頼れる人を探す（日頃からの近所づきあいを大切にする）
- ▲災害時の水の確保
- ▲地震の後「トイレを流せない、してはいけない」ことを、つい最近まで知らなかった
- ▲災害発生時のトイレの確保

（防犯）

- ▲街が暗い
- ▲路上が暗い
- ▲不審者をなくしたい！

（交通安全）

【道がせまい】

- ▲歩道がせまい、舗装が悪い
- ▲せまい道が多くて危ない
- ▲道がせまい
- ▲道路の整備
- ▲歩道（人）と自転車を分けてほしい
- ▲「ゾーン30」生活道路が抜け道化して、速度オーバーの車が多い。ゴミ出しや通学の時間が危ない。

【高齢者の移動可能】

- ▲高齢者等の移動が不便（現循環バスに対する意見が多い）
- ▲道路をすべてバリアフリー化してほしい

【子どもたちの安全】

- ▲登下校コースの交通量が多い。
- ▲通学路にスピード出す車やトラック。制限速度を守らない
- ▲登下校時の車のスピードの制限

和光 100 年まちづくり会議キックオフミーティング
【ワーク② これから 10 年を考える】

▲：問題、課題、○：解決アイデア

（防災）

【湧き水を生かす】

- 緑地や湧き水を大切に、防災・減災とうるおいのある街に！
- 地形を生かす。湧き水を多くの人に知ってもらい、災害時の貴重な水として保全する
- 湧き水・井戸水の活用
- 水が不要なトイレの整備（大型商業施設）
- 災害時に湧き水や井戸の活用を！

【防災の向こう三軒両隣＋教育】

- 住民同士のコミュニティ
- 身近な防災教育を子どもから大人・お年寄りまで
- 地域からもう少し5～10 世帯で班などにして交流しておく

（防犯）

【あいさつ】

- 目が合ったらいあいさつする（声かけ）
- 相談できる
- 不審者をなくしたい！田舎すぎず都会すぎず。自衛のテクニックを義務教育でカリキュラム化する
- 子育てが終わった後も地域防犯、子どもの登下校を見守る

【交通安全】

- 行政・市民で街を歩く（問題点を探す）
- ベースカー（住民主体で制限速度を守ることのマークを付ける）
- 安全コナースの見直し
- 大人たちの見守り（父兄だけでなく地域全体で）
- 地元企業との連携による登下校コースの安全確保
- 自動車と自転車・歩行者の区分をより明確にする
- 電線類を地中化する
- 一方通行や歩行者のみにする

- 傾斜地の宅地開発の規制
- ゾーン30（危険地域をセーフティマップで共有。優先順位をつけて、速度制限イベントを行う）

【協定】

- 企業の建物へ避難できるようにする
- 計画的な建設（老朽化）

【情報】

- 体験型ワークショップを増やす
- 一目でわかる A4「ご注意チラシ」（例：高齢者向け詐欺対策チラシ）
- 個人宅に wi-fi 端末を配布し、わかりやすく聞きやすい運用にする

- どうにかして電灯を増やしていく
- 各個人（民家・マンション）にライトを設置

- ▲斜面が開発され、緑が失われていくのは残念。斜面の緑を保ち、崩れるのを防ぐ必要がある

地域（人・まち・緑）を守る

テーマB 生きがい（福祉・健康・スポーツ・コミュニティなど）

和光 100 年まちづくり会議キックオフミーティング
【ワーク② これから 10 年を考える】

▲：問題、課題、○：解決アイデア

【高齢】

- ▲高齢者ドライバー対策（自治体独自の支援施策がない）
- 免許返納が難しい方にも補助金を！
- ▲孤立死
- プライベートは保持しつつ、何かあれば対応できる住まい（高齢者向けシニアハウスとか）

- ▲長く（いつまでも）体を動かせる環境があるか（今はない）
- ゲーム型のごみ収集などスポーツ化

【障がい】

- ▲多くの人が色々なサービスを受けていない（特に障がい者、重度の人）
- 家族、一番はご本人の支援（サービス提供）ができればいい。
- 地域で支える
- うまく誘い出す
- ▲公共施設の障がい対応が不十分

【その他】

- ▲生涯学習支援（再学習、障がいのある方、若年層）
- 図書館の活用
- ▲図書館（本館）の再整備（狭い、古い、本が少ない）
- ▲まだまだ文化・芸術の街にはなっていない。例：映画館がない（時々上映会はあるようですが）
- 例えば、NHK の「空港ピアノ・駅ピアノ」が大好きです。和光市駅にピアノをおいていただいて、誰もが気軽に弾けたら素敵だと思います。

【スポーツ】

- ▲スポーツできる場所が少ない。あっても遠い。
- ▲一般の人がスポーツを楽しめる環境が少ない（距離、リソース、予約）。ハコモノ重視。
- ▲スポーツ施設「和光スポーツアイランド」の利用者が限定されているので困っている。
- 街なかで気軽にスポーツできるスペースを（例えば、駅前（鉄棒））
- 中学生の部活に一般の人も参加できるようにする
- 和光スポーツアイランドは場所柄的にもアクセスが良いところなので、これから全体オープンになったときに、どなたも利用できる、来てもらえる施設になってほしい
- 他市にも開放
- ▲国際的な催しに対する市民の関心が低い
- ▲2019 ワールドラグビー、2020 オリパラの射撃（30 年度の認知度 10.9%）
- ▲トップ選手が身近にいるのにふれあうタイミングが少ない
- ヤクルトの二軍選手などプロスポーツの人をコーチに呼ぶ（駅前ピアノみたいな仕組み？）
- 理研、HONDA、自衛隊と連携したスポーツ教育施設やプログラムがあると良い。
- 市内の資源を活かす。赤羽にある国立スポーツ科学センターの子ども版を

【既にある資源・活動・場のマッチング】

- 「困っている人、潜在的ニーズ」と「プロボノ」とのアンマッチをなくしたい
- 多世代自然を利用して、高齢者から子供まで交流を！
- 多世代交流の機会を増やす場づくり
- 市役所による各活動の周知をもっと充実させる
- 関心にあわせて活動を PR する
- マージングリスト等の活用

【地域】

- ▲孤立している人が多い
- ▲自治会加入率が低い
- ▲つながりが希薄
- ▲人とのつながりの薄さ
- ▲若い世代との関わり
- ▲新しく住み始める方が増える中でのコミュニティ形成が課題
- ▲ベッドタウン化しているのでは
- ▲生活の場としての印象が薄い（住んでいるのみ）
- 自治会活動は思っていたよりも活発
- 人の役に立ちたいと思っている人がいる
- いろいろやっていることを知ってもら

これがあれば良い

- 気軽に利用できるコミュニティ施設、イベントがあると良い
- 週末遊べる場所、一日過ごせる場所、学べる場所があると良い
- 白子地区の湧き水を公園として多くの人が訪れる所に、それを守る活動も

- スポーツの技術を磨く以外に、他世代との交流や生きる力を養う環境が欲しい。
- 「スポーツ団体」～「コミュニティ団体」へ

テーマC 子ども・子育て（子育て・学校教育・地域教育など）

和光 100 年まちづくり会議キックオフミーティング

【ワーク② これから 10 年を考える】

▲：問題、課題、○：解決アイデア

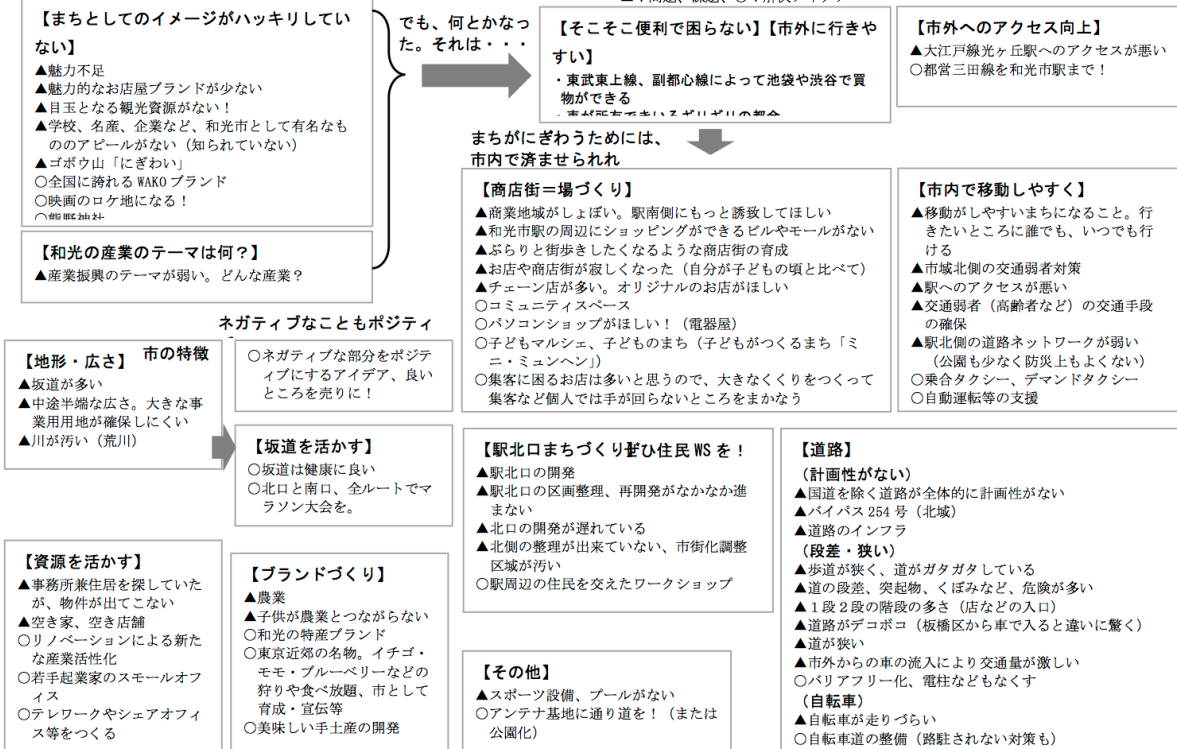


テーマD にぎわい・活力（都市基盤・公共交通・産業振興など）

和光 100 年まちづくり会議キックオフミーティング

【ワーク② これから 10 年を考える】

▲：問題、課題、○：解決アイデア



□後藤先生・市長の総括コメント

後藤先生 総括コメント

【A 安全・安心系】

- 関東大震災の時に、和光市はどういう状況だったのだろうか。（市長から、和光市の被害は非常に少なく、都心からの被災者の受け入れをしていた、との回答あり。）
- 和光市の災害史やパニック史を整理する、振り返ることも大事だと思う。
- さらに、国際化のなかで防災を考えていく必要もある。和光市にいる外国人が災害の時に大丈夫かどうか。
- 災害は、社会の中の最も弱いところに襲いかかる。そういう視点が必要。

【B 生きがい系】

- 「主観的健康感」という指標がある。
- 「主観的健康感」が上がると、「客観的健康感」も上がると言われている。
- プラタモリのように、まちを辿り歩く、特にガイドの案内で歩くと、健康感が上がり、健康寿命が伸ばせることになる。
- 健康に過ぎて、最後は自宅で見取られるのが一番の幸せかもしれない。

【C 子ども・子育て系】

- 私の研究室では、2つの方法で地域を読み解くことをしている。
- 1 つ目は、オーラルヒストリー。地域の歴史を、地域の方々に聞いて記録をし、整理する。市史などには載っていない、大文字ではない小文字の歴史。
- 2 つ目は、まちづくり人生ゲーム。地域に暮らす、色々な年代や立場の人になってみて意見を出すワークショップ。
- 子どもの問題、子育てや教育の問題など、多世代でどう解いていくかが重要だ。
- このチームのタイトルで、社会教育ではなく地域教育と謳っていることが、ポイントかもしれない。

【D にぎわい・活力系】

- 和光市には国の施設など外からの要請でできたものが多く、市外からの大きな整備の力が働いているのが、和光市の特徴でもある。
- 最近、「Growth Management」「Smart Growth」と言われている。右肩上がりを目指すのではなく、成長管理をしていく、ということ。そういう考えが必要な時代になっている。その上で、和光市はどのような人口規模を目指すのか。
- その下支えに当たるかもしれないが、「マース」(Maas : mobility as a service) という考え方も出てきている。シームレスな公共交通・新交通というべきもの。こういったものも和光市で考えていく必要があるのでは。

【全体総括】

- SDGsに17個の目標がある。理解がなかなか難しいかもしれないが、SDGsは「辞書」だと思うとよい。何かに取り組む時に辞書を引く感覚で、当たってみるとよい。
- いくつかの単語を組み合わせて、和光市なりのストーリーを描ければ良いと思う。
- ドイツのフライブルクが、世界の環境首都として昔から有名だが、その中の「ヴォーバン地区」が現代の最先端をいっている。再生可能エネルギーの取組のほか、住民の車が離れた駐車場にまとめられているなど、和光市でも考えていくと良い。
- まちづくりにおいて、「インクルーシブ」の考えが今後重要だろう。老若男女が一緒に暮らしていくということ。
- 社会的弱者をどう受け入れるか、どう一緒に働いていくか。
- 年代や階層に偏りがあると、地域の持続性はなくなっていく。
- 混ぜ合わせることが多様性となり、まちの持続性につながっていく。

松本市長 総括コメント

- ・本日はご参加いただき、ありがとうございました。
- ・冒頭で、総合振興計画にはまず目標や理念が必要ということがありましたが、目標というよりはもう少しわかりやすく、こういった住み心地のまちにしたい、私たちはこんな風に暮らしたい、生活したい、というようなことを、皆さんと考えて、共通のものにしていただければいいなと思っています。

4. 第2回まちづくり会議

□第2回プログラム

WAKO
LIFE

和光における人生と生活像

キーワードワーク

和光 100 年まちづくり会議
第2回
2019.10.6

10:00-10:10

1 はじめに

- 今回のねらいと、本日の流れを説明します。
- 前回の結果を簡単にふりかえります。(展示パネルもご覧ください)

10:10-10:45

2 ワーク① まちづくり人生ゲーム

- 「和光市における人生」の様々なステージごとに設問回答をしながら、まちづくりの課題について考えを深めるワークショップです。
- 現在（2019 年）に設問の年齢になったつもりでお考えください。

10:45-11:25

3 ワーク② 和光市での生活・暮らしをイメージする

- 前半では、「人生ゲームカード」から大事なカードを選んで発表し、意見交換しながらグループ内でカードを整理します。
- 後半では、「和光市で実現していきたい生活像（こんな生活や暮らしをしていきたい）」や「和光市が目指すまち」について、シンプルに言い表す「フレーズ」や「キーワード」を考えます。

10:25-12:00

4 ワーク③ 発表・全体まとめ

- 各グループから検討内容とフレーズ・キーワードを発表します。
- 全体でのフレーズ・キーワードの整理をします。

次回

第3回 和光 100 年まちづくり会議

「将来像を実現するためのアイデアを出し合おう」

日時：12 月 8 日（日）10:00～12:00

場所：和光市役所 602 会議室

□第2回ワーク①まちづくり人生ゲームカード

1

小学生

遊び場

小学生のあなたは、今日は大の仲良しのさつきちゃんと遊ぶ約束をしています。さあどこで遊びますか。

1. 公園や河川敷で遊ぶ。
2. 家の前の道路でボール遊びをする。
3. 児童館で遊ぶ。
4. 家でテレビゲームやスマホで遊ぶ。
5. その他（ ）



2

中学生

課題研究

中学校の授業の一環で、チームで課題研究に取り組むことになりました。何について調べますか。

1. ゴミのポイ捨てやリサイクルについて。
2. 道路の渋滞、排ガスや騒音について。
3. 屋敷林や農地などの自然について。
4. 湧き水や白子川・越戸川などの水環境について。
5. その他（ ）



3

高校生

進路選択

高校を卒業します。これからの進路は、どのような道に進みますか。

1. 和光市周辺で仕事を見つきたい。
2. 通える範囲で進学したい。
3. 海外留学したい。
4. 就職して新しい街に引っ越したい。
5. その他（ ）



4

24才

故郷紹介

よそのまちに住む大好きな恋人に、我がまち和光市を初めて紹介します。どこを案内しますか。

1. 和光樹林公園や柿ノ木坂湧水公園などの自然をめぐる。
2. 新倉ふるさと民家園や長照寺などの歴史文化をめぐる。
3. ホンダや理研の施設を紹介する。
4. 新倉うどんや鍋グランプリなどグルメを味わう。
5. その他（ ）



5

28才

出産

見事にゴールイン！ 2人の新婚生活も楽しいですが、そろそろ子どもを産みたいと考えています。どのようなサポートが必要ですか。

1. 働き先の理解やサポート。
2. 産婦人科や小児科などの医療環境の充実。
3. 保育園や学童の充実。
4. パートナーの理解と協力。
5. その他 ()



6

31才

育児

子育て中の私は不満がたまりにたまってカリカリしています。なぜだかわかりますか？

1. ママ友パパ友がなかなかできない。
2. 子育て支援の仕組みがわかりにくいし、手続きも面倒。
3. 仕事に復帰したいが、適当な仕事がないし、タイミングも難しい。
4. ベビーカーを押せない凸凹道が多すぎ！
5. その他 ()



7

34才

新居

子どもが少し大きくなり、今の家では手狭になってきました。どのような住まい方をしたいですか。

1. 和光の実家で親・自分・子どもの三世代で、一つ屋根の下に住む。
2. 和光に住むが、親とは別居する。
3. 和光よりも地価の安いまちに引っ越す。
4. 手頃な物件がないので、しばらく我慢する。
5. その他 ()



8

38才

通勤

お仕事お疲れ様です。毎日の通勤がもっと快適なるにはどうしたら良いですか。

1. 坂道が多いので、駅と各所を結ぶバスの増便やデマンドタクシーの普及。
2. 駅周辺の朝・夕の混雑解消。
3. マナーの悪い自転車をなくす。
4. 街灯の少ない夜道を明るくする。
5. その他 ()



9

42才

町内会

町内会に入ることになり、さっそく防災担当になりました。何を重点的に取り組みますか。

1. 防災訓練の充実。
2. 非常食や防災グッズの備蓄強化。
3. 住民どうしが顔見知りになれる催しを企画。
4. 緊急速報などの情報が直ちに受信できる環境整備や情報の多言語配信。
5. その他（ ）



10

47才

休日の過ごし方

子どもがだいぶ大きくなり、休日を夫婦や友達と楽しめるようになりました。どのように過ごしますか。

1. 電車で池袋や渋谷などにお出かけする。
2. 市内のおいしい飲食店に行く。
3. 和光スポーツアイランドや図書館などの地元の文化施設で楽しむ。
4. まち歩きをしたり、健康づくりをする。
5. その他（ ）



11

52才

地域との関わり方

ふと気づけば子どもは独り立ちし、子育て以外に関心が強まってきました。どのような活動をしたいですか。

1. 地域の福祉や教育に関するボランティア・サークル活動に参加する。
2. フリーマーケットへの出店やお祭りのお神輿担ぎなど、地域イベントに参加する。
3. 仕事で培ったキャリアを活かし、和光の人々に役立つ事業を起こす。
4. 会社が忙しいので、地域とは関われない。
5. その他（ ）



12

56才

まちづくり

周りからの推薦もあり、市議会議員選挙に立候補することになりました。どのようなまちづくりに取り組みたいですか。

1. 安全な道路整備など都市インフラの充実。
2. 生きる力・学ぶ力を育む教育の充実。
3. 和光ブランドを強化して、観光PRや見所づくりに力を入れる。
4. 健康づくりや医療福祉にもっと予算をつける。
5. その他（ ）



13

65才

第2の人生

定年を迎え、この先の第2の人生ステージをどのように過ごしますか。

1. 孫と楽しく過ごしたい。
2. シルバー人材センターに登録するなど、地域のためになることをしたい。
3. まだまだ働きたい。働き続けなければならない。
4. 新しい趣味や特技を見つけたい。
5. その他 ()



14

72才

古い

少しずつ身体が弱ってきました。安心した老後生活には何が必要ですか。

1. 地域に頼れる医療機関やお医者さんがいること。
2. 身体が弱っても移動手段が確保されていること。
3. 介護福祉サービスの充実。
4. 日用品や生鮮食品を購入するための移動販売車や宅配といった新しい買い物環境。
5. その他 ()



15

85才

ひとりぼっち

長年苦楽を共にした連れ合いに、とうとう先立たれてしまいました。これからどのように暮らしていきますか？

1. お年寄りが気軽に集まれるコミュニティカフェに行く。
2. 子どもや孫と同居して、困ったことは助けてもらう。
3. 親族に世話をしてもらうのも気兼ねするので、高齢者向け施設に入所する。
4. 新しい恋人を見つけて一緒に暮らす。
5. その他 ()



伝えたいことば

いよいよお別れの時です。和光市に住む後輩たちに、最後に何を伝えたいですか？

ご自由にお書きください。



□第2回ワーク①旗上げアンケート（人生ゲームカード）結果

	年代	テーマ	①	②	③	④	⑤	合計
1	小学生	遊び場	20	3	6	3	2	34
2	中学生	課題研究	5	5	8	13	3	34
3	高校生	進路選択	0	13	18	0	3	34
4	24才	故郷紹介	7	8	5	10	4	34
5	28才	出産	4	7	8	8	7	34
6	31才	育児	3	10	8	2	11	34
7	34才	新居	1	15	6	8	4	34
8	38才	通勤	9	8	2	3	12	34
9	42才	町内会	1	3	22	5	3	34
10	47才	休日の過ごし方	10	3	2	11	8	34
11	52才	地域との関わり方	9	7	11	5	2	34
12	56才	まちづくり	5	9	6	6	8	34
13	65才	第2の人生	4	3	6	11	10	34
14	72才	老い	8	10	1	5	10	34
15	85才	ひとりぼっち	11	3	9	3	8	34

注：参加者の同伴者（子ども）1名が参加したため合計数が1名多くなっている。

□第2回ワーク②（前半）の結果

A グループ		ライフステージ 楽しく生きられる 第2の人生		和光 100 年まちづくり会議 第2回キーワードワーク 【ワーク② 和光市での生活・暮らしをイメージする】 年齢が重要	
交通 【14】 古い ②身体が弱っても移動手段が確保されていること。 ・送迎がある病院しか行けない（現在）。移動方法がほしい。	移動手段の向上 【14】 古い ②身体が弱っても移動手段が確保されていること。 ・自動運転のコミュニーターが走り回れる環境づくり ・シェア自転車のステーション充実。	【13】 第2の人生 ⑤海外に行く。 ・今後の人生をどう生きていくのか。老後、健康で生活できる為にどうしたらいいのか。人生の分岐点でもあり、ここが老後どう生活するか、大事なところだと思った。	定住転入 【6】 育児 ⑤その他（小さい子が遊べる所が少ない、あっても遠い） ・子育てしやすい所は、まちがいなく人が集まるし、子供が増えることで、街のイベントや教育支援が充実していく。	子育て 【6】 育児 ①ママ友パパ友がなかなかできない。 ・子育てしやすい町かどうかで、その先も住み続けることが出来る。また、年収も増やす事が出来るため。	
バスルート 【8】 通勤 ⑤その他（道路の修繕） ・利便性が高いことは日々の、毎日のことなので、ここが快適であれば、和光に住んでいることが、苦ではなく、住み続けようと思うはず、そうすることで和光には何かがあるのか、自然と和光が好きになる。	転換期の生きがい 【13】 第2の人生 ④新しい趣味や特技を見つけた。 ・しばらく自由な興味を楽しみたい。	【11】 地域との関わり方 ①地域の福祉や教育に関するボランティア・サークル活動に参加する。 ・（ライフサイクルの中での転換期）転換準備期で生きがいや健康寿命を伸ばしていくための重要な時期と考える。	進路、国際化、海外、留学 【3】 進路選択 ③海外留学したい。 ・高校や大学などの選択肢が少ない気がする。 ・高専などほしい（工業高等専門学校）	子ども、次の世代 【6】 育児 ⑤その他（仕事の探し方がわからない） ・街の発展には、子供や若い世代が常にいることが、必要なので、その世代が住みやすいことが大事だから。	
コミュニティ 市民同士の連携 【9】 町内会 ③住民どうしが顔見知りになれる催しを企画。 ・何かあったときに地域で助けあえると思う。	情報発信 【12】 まちづくり ③和光ブランドを強化して、観光PRや見所づくりに力を入れる。 ・和光は〇〇な街といえる、他に住んでいる人が来なくなるような街づくり。	市の特徴 【4】 故郷紹介 ①和光樹林公園や柿ノ木坂湧水公園などの自然をめぐる。 ・和光市が存続、発展するには、特徴や魅力を発信・伝えることが大事だから。	【3】 進路選択 ③海外留学したい。 ・行ったことがないから。	【3】 進路選択 ③海外留学したい。 ・これからは日本だけで生きていく時代ではないと思うので、早めに海外と接する機会をもてようにしたい。	
伝えたいことば ・自分は住みやすかった。あなたも住みやすくなるように考えて。 ・おだやかな町で、健康やかに人生を送って下さい。 ・和光市にある物を最大限利用し、自分の為に生活を快適にするために活用していく。 ・ありがとう！ ・空気の様に、安心して仲良く暮らして下さい。 ・自分達の好きなように街づくりをしてほしい。		小学生、遊ぶ環境 【1】 遊び場 ①公園や河川敷で遊ぶ。 ・子供が外で遊べる環境を残しておくことが大事だと思うから。	中学生が大事 課題研究活動（中学生） 【2】 課題研究 ①湧き水や白子川・越戸川などの水環境について。 ・子供が外で遊べる環境を残しておくことが大事だと思うから。	教育 【12】 まちづくり ②生きる力・学ぶ力を育む教育の充実。 ・長い目で見たときに、子供にどのような教育をできるかで、街や社会の良し悪しがきまるから。	

B グループ		和光 100 年まちづくり会議 第2回キーワードワーク 【ワーク② 和光市での生活・暮らしをイメージする】 まちの基盤（ゴミ・リサイクル）		
子育て身近なサポート 【5】 出産 ⑤その他（近所の人と知り合う場所サポート） ・命がけで出産したボロボロの体で孤立した子育て、リスク高すぎる。	【6】 育児 ⑤その他（身近なサポート） ・大切な子供を育てるのにまず身近なサポートが必要と思う。	【2】 課題研究 ①ゴミのポイ捨てやリサイクルについて。 ・住みやすい街は、自分たちがやらないと成し得ない。そのための意識を学ぶ。	【2】 課題研究 ②道路の渋滞、排ガスや騒音について。 ・道路を広く。	【8】 通勤 ⑤その他（車でなくても空を飛べると思う） ・世界が楽になるから。
×サポート、共助 【14】 古い ⑤その他（老人だけでない居場所） ・年齢や性別に限定されないコミュニティが沢山あり、まだまだ自分の能力を発揮するチャンスがある。	防災 【9】 町内会 ①防災訓練の充実。 ・安全なまちづくり	魅力のあるまち 【10】 休日の過ごし方 ①電車で池袋や渋谷などにお出かけする。 ・ストレスの解消が精神、健康のために大切だから。	【10】 休日の過ごし方 ②市内のおいしい飲食店に行く。 ・できれば、地元で休日過ごす日もつくりたいが、あまりない。地元人も「何もない」と思うようだが、他市から人を呼ぶのは難しいかも。	【12】 まちづくり ⑤その他（エリアの中心になるようなハブ都市化） ・周辺市も巻き込んだエリアの中で、一番優れている街に、ただ栄えているのではなく、便利でキレイで、程よく賑やかな街。周辺から人がお金を落とす（インバウンド）
子どもの権利、自由に過ごせる余暇がない、遊び場が限られている 【1】 遊び場 ⑤その他（習い事） ・子どもの権利として自由が、社会、まちにないから。 【1】 遊び場 ③児童館で遊ぶ ・外で安全に遊べる所や、川、湧水など、少なくなったような気がする。	【1】 遊び場 ①公園や河川敷で遊ぶ ・小学生の時の遊び方や友達などで考える力や感情などがやがてなくなる。	居住の選択肢が少ない 【7】 新居 ③和光よりも地価の安いまちに引っ越す。 ・物件がない。どうしても引越しをしなければならぬ時、他の街に目がいってしまふ。一生住まわなければならないところになってほしい。	【15】 ひとりぼっち ⑤その他（生きる） ・生きられないと考えられないから。	【15】 ひとりぼっち ⑤その他（旅に出る） ・生活としてイメージしにくいと思って。現状が気になる。知りたい。
進路の選択 【3】 進路選択 ③海外留学したい。 ・これからの人生設計が、この時期に考えることが大切だから。広い視野を実感に感じることが大切。	【3】 進路選択 ③海外留学したい。 ・進学するか、働くかを選択することで、これからのことを考えることになる。	【13】 第2の人生 ③まだまだ働きたい。働き続けなければならない。 ・まだ、体が動くこの時期が老いの生き方を決めるから。③を選んだのは、働かなければ、今後（今の世）生きてゆけない時代だから。	全部大事！生涯学習 【12】 まちづくり ⑤その他（2以外全部） ・全部大事だから。	【12】 まちづくり ②生きる力・学ぶ力を育む教育の充実。 ・人間の教育が大切！

C グループ

和光 100 年まちづくり会議 第 2 回キーワードワーク
【ワーク② 和光市での生活・暮らしをイメージする】

余裕のある生活	緑がまちにある	つながりのある暮らし	地域で集まれる場所
【1】遊び場 ②家の前の道路でボール遊びをする。 ・安全な場所が少ない。 ・遊べる場所が少ない	【4】故郷紹介 ⑤その他 ・江戸時代の白子宿のなごりがあり、湧き水が豊富な自然を伝える。 ・白子わき水、歴史と自然	【14】 古い ⑤その他（近所に顔見知りがたくさんいること。） ・坂の下に住んでいる、きつと年を取るほど苦労する。近くに話せる人がいないと孤立してしまう。 ・歩いていける助け	【12】 まちづくり ⑤その他（1、2、4、安心安全が Key Word） ・電気、水道、防犯、子育て（まず公的教育）の安心！ ・ライフライン
【7】新居 ④手頃な物件がないので、しばらく我慢する。 ・便利な町だけど、家が狭い！もう少しゆとりのある生活をしたい。 ・地価が高い	【7】新居 ④手頃な物件がないので、しばらく我慢する。 ・急斜面にもマンションが建ち並ぶ街でなく、自然を残す余裕ある開発が必要。 ・余裕のある町（開発ばかり）	【9】町内会 ⑤その他 ・生きるか死ぬかの問題！すべてのレベル、考えも準備も甘いし、不足。安全。 ・生きるか死ぬか	【9】町内会 ③住民どうしが顔見知りになれる催しを企画。 ・住民どうしが顔見知りだけでなく、外国人の増加で災害が起きた時にトラブルの原因になる。 ・外国人も増えている、協力
【5】出産 ①働き口の理解やサポート。 ・出産、育児は企業としても重要観点として考えるべき。 ・家庭の負担を減らしたい	【2】課題研究 ③屋敷林や農地などの自然について。 ・自然の大切さを子供から学ぶ。	【11】地域との関わり方 ⑤その他（地域の福祉や教育に関するボランティア・サークル活動に参加する。） ・子育て後の地域活動が豊かかどうかで、生きいき暮らせるかどうかを左右されると思うので… ・子育て後も地域で	【15】ひとりぼっち ①お年寄りが気軽に集まれるコミュニティカフェに行く。 ・心身元気であることが大事→医療費負担減。ボケ防止。 ・心身の健康
【11】ひとりぼっち ①お年寄りが気軽に集まれるコミュニティカフェに行く。 ・安心安全ができるだけ多く、死ぬまで生きる。			
【11】地域との関わり方 ①その他 ・地域の残された自然にも目を向け、きれいな街になるよう環境ボランティアとして関わる。 ・マナーアップ、美化活動。			
伝えたいことば ・安心安全、多様性のある関わり、多様な関わりと行動。がいいと思うよ。 ・きれいな町を保って仲良く暮らしてね。 ・ありがとう、楽しい暮らしをしていってください。 ・自然とうまく付き合って。 ・和光の特徴的な、自然、湧き水を残して皆で守り、伝えていく。			

D グループ

和光 100 年まちづくり会議 第 2 回キーワードワーク
【ワーク② 和光市での生活・暮らしをイメージする】

生活像	「和」	「光」	将来像
【1】遊び場 ①公園や河川敷で遊ぶ。 ・今、小学生の子どもが思いっきり遊ばせてあげられる所が少ないと感じるから。そう言っているママ友も多いから。	【1】遊び場 ①公園や河川敷で遊ぶ。 ・子供の頃に自然にふれあい、豊かな心を育む。好奇心の源。	【3】進路洗濯 ②通える範囲で通学したい。 ・県内公立高校の選択肢が少なく、和光市は都立高校も選択できたらしいのと思うことがある。	【12】まちづくり ⑤その他（環境保護） ・豊かなうらおいのあるまちづくり。 ・潤い、人口も
【5】出産 ②産婦人科や小児科などの医療環境の充実。 ・子育て環境、医療関係が充実していないと「住みたい」という希望が見えないため。	【6】育児 ⑤その他（自分の時間がナイ。） ・今、まさに育児真っ最中。イライラしないので子どもと向き合えるようにしていきたい。この時期の家族との時間がとても大切な気がするから。	【10】休日の過ごし方 ④まち歩きをしたり、健康づくりをする。 ・散歩していても楽しい街づくり。	【12】まちづくり ③和光ブランドを強化して、観光 PR や見所づくりに力を入れる。 ・魅力的な街づくり。和光の「光」の部分。
【11】地域との関わり方 ①地域の福祉や教育に関するボランティア・サークル活動に参加する。 ・人とのつながりは大切。	【13】第2の人生 ④新しい興味や特技を見つけた。 ・いつも刺激を持っていたい！	【9】町内会 ③住民どうしが顔見知りになれる催しを企画。 ・新しい仲間を人生を豊かにしてくれる。和光の「和」の部分。	【12】まちづくり ①安全な道路整備など都市インフラの充実。 ・急な坂。曲がりくねった道。狭い道。入り組んだ道。自転車と歩道の区分がない。南北に広く、自転車などは必需品であり、道路インフラ整備は重要。
【15】ひとりぼっち ①お年寄りが気軽に集まれるコミュニティカフェに行く。 ・人とのつながりは大切。	【14】 古い ⑤その他（ロボット技術） ・先端技術研究施設とのコラボによる体力の低下者へのロボット技術導入は健康づくりともリンクできるのではないかな。	【5】出産 ②産婦人科や小児科などの医療環境の充実。 ・生活の基本・基盤。	【14】 古い ⑤その他（ロボット技術） ・先端技術研究施設とのコラボによる体力の低下者へのロボット技術導入は健康づくりともリンクできるのではないかな。
【13】第2の人生 ①孫と楽しく過ごしたい。 ・親がまさに第2の人生をどうしようかという年代で、心がボツボツしないように充実した日々を過ごしたいから。	【14】 古い ⑤その他（ロボット技術） ・先端技術研究施設とのコラボによる体力の低下者へのロボット技術導入は健康づくりともリンクできるのではないかな。	【14】 古い ⑤その他（ロボット技術） ・先端技術研究施設とのコラボによる体力の低下者へのロボット技術導入は健康づくりともリンクできるのではないかな。	【13】第2の人生 ①孫と楽しく過ごしたい。 ・親がまさに第2の人生をどうしようかという年代で、心がボツボツしないように充実した日々を過ごしたいから。
伝えたいことば ・自由にゆくり。 ・笑顔で！！ ・人生を楽しんでね！ ・和光市どうよ…？ ・Enjoy!! ・良い町です。永く住んでください。			

E グループ

気軽に外に出られる

【12】 まちづくり
①安全な道路整備など都市インフラの充実。
・右折ライン増設。254、オリンピック、死に事故。
・交通の便
・安全（道路）

交通事故がない

【8】 通勤
⑤その他（歩道がせまい。チャリが危険なところが多い）
・市役所のそば以外は自転車歩行者行き来しづらい道がいっぱいある。
・自転車で行き来しやすく。
・自転車道がほしい。
・通学時は子どもであふれる。

伝えたいことば
・無駄な経費はない。いろいろな事に挑戦しよう。参加しよう。
・「道路の安全」特に254、オリンピック道路に右折ラインを。建物の高度化、空地整備。
・悔いのない人生を送ってください！
・多くの色々な人達とのつながり、交流を深め、100才まで元気に過ごしましょう。
・便利な町だが、発展途上の町だからどう地域に関わるかが大事だよ。

誰でも移動できる

【8】 通勤
①坂道が多いので、駅と各所を結ぶバスの増便やデマンドタクシーの普及。
・足の確保が健康安全見守りを充足する。
【8】 通勤
①坂道が多いので、駅と各所を結ぶバスの増便やデマンドタクシーの普及。
・坂道の対応。
【14】 若い
②身体が弱っても移動手段が確保されていること。
・車を重ねていくと内にもりもり（出たのいに出られなくなる恐怖） どういう状態でも外に出て何かに関われる機会を持つことが重要だと思う。

挑戦
交流・つながり

子供たちと同居したい

【15】 ひとりぼっち
②子どもや孫と同居して、困ったことは助けてもらう。
・現在80才。元気なつもりだが、少しボケが進みだした。
ライフラインの一つ
ご近所づきあい・顔見知り
【2】 課題研究
①ゴミのポイ捨てやりサイクルについて。
・ゴミやタバコのポイ捨てが目立つ。モラル問題といえるが自分の町に愛着がないことがさびしいので。
・地域への愛着がうすいから？
・Smoking areaがない。企業勤めの若い人がタバコ屋の前で吸っている。
近くに頼れる人がいる
【14】 若い
⑤その他（まわりには仲の良い人がいる）
・ご近所づきあいが程よい距離感でできるといい。難しいところもけっこう多い。

医療面の安心

【14】 若い
①地域に頼れる医療機関やお医者さんがいること。
・これまで医者にかかったことはないが、今後、体調を崩した時に相談できる医療機関があつてほしい。

和光 100 年まちづくり会議 第2回キーワードワーク
【ワーク② 和光市での生活・暮らしをイメージする】
心が通う取組み

【12】 まちづくり
④健康づくりや医療福祉にもっと予算をつける。
・形式的なことだけでなく、心の通う地域。

地域と関われる

【11】 地域との関わり方
③仕事で培ったキャリアを活かし、和光の人々に役立つ事業を起こす。
・60才以降の会社という組織以外での世の中での関わりは重要。人生で多く経験したものを活力に別のもの（フィードバック）で活かしたら素晴らしいので。
・地域でキャリアを活かす関わり方。
・例えば、少年野球チームの新聞づくり→今でもつながり

働き続けられる

【13】 第2の人生
③まだまだ働きたい。働き続けなければならない。
・65才での体力気力は、まだまだ十分ある。経済的な事も含め、元気に楽しく働き続けたい。
・楽しく働き続ける。
・仕事を辞めたあとは奥さんと一緒に行動（地域で）

【5】 出産
⑤その他（全部）
・仕事を続けたかったが、断念した経験があるから。
・出産、育児でも断念したくない。

災害時への備え

【9】 町内会
②非常食や防災グッズの備蓄強化。
・自分の事、我が家の事、そして地域の為に大いなるテーマ。
・交通の便
・安全（道路）

災害時の情報

【9】 町内会
④緊急連絡などの情報が直ちに受信できる環境整備や情報の他言語配信。
・情報が大切。防災グッズ等送る程ある。防災訓練ほとんど強制募金の停止。
・役に立つ情報を！

F グループ

【4】 故郷紹介
④新倉うどんや鍋グランプリなどグルメを味わう。
・新たなグルメ。名物となるようなものを作っていければいいな。

【4】 故郷紹介
④新倉うどんや鍋グランプリなどグルメを味わう。
・和光は転勤者、単身者が多いですか？（多い気はしますが…）なので、あまり街に興味のない方にも魅力を伝えられれば

【6】 育児
⑤その他（パートナーが戦力外！）
・1〜4は既に市役所が施策を打っているが、潜在的なニーズとして、一見理想の家族でも孤立して絶望しているケースもあるからそこを解決したい。

【6】 育児
④子育て支援の仕組みがわかりにくいし、手続も面倒。
・大事なタイミング。

高齢者を支える、地域のつながり

【9】 町内会
③住民どうしが顔見知りになれる催しを企画。
・1と2と4は市役所がハードで整備できるが、3の地域が希薄だと全部ムダになってしまう。
・自分の町内会の防災MTGでも、受身の人がばかりで現実を知った。

【9】 町内会
③住民どうしが顔見知りになれる催しを企画。
・集まれる場所、行く場所がある。

若い人向けの町を…

【14】 若い
②身体が弱っても移動手段が確保されていること。
・移動できることは大事。

【14】 若い
⑤その他（3と4）
・買物をして家で持って来るのができない。

ひとりでも大丈夫

【12】 まちづくり
①安全な道路整備など都市インフラの充実。
・移動する足も弱り、坂も多いと困る。

【12】 まちづくり
④健康づくりや医療福祉にもっと予算をつける。
・健康、移動。

町なのに農がある（農に触れる場）
利便が良くても農もある（住むだけなら他に住んで）
【10】 休日の過ごし方
②市内の美味しい飲食店に行く。
・市内に新名所を作る。せっかく畑が残っているのだから、農業体験して、その野菜が食べられるようなレストラン。

【11】 地域との関わり方
③仕事で培ったキャリアを活かし、和光の人々に役立つ事業を起こす。
・地域にデビューするシニアがもっと増えれば町が楽しい。会社どつぱり生活が長いと難しい。

伝えたいことば
・私は長照寺のいこうになってみんなを見守っています。
・畑を残しているのね。
・すばらしい街、和光！
・和光はいい街です。これからも安心して誰もが楽しく暮らせる街であり続けるように頑張ってください！
・ありがとう。楽しかったよ！！

農

【12】 まちづくり
③和光ブランドを強化して、観光PRや見所づくりに力を入れる。
・和光は都心からのアクセスが抜群なので街をもっと魅力的にすればいいなあと思います。観光、芸術、文化、スポーツ等。（例）駅ビノ充実やフィルム・コミッション。

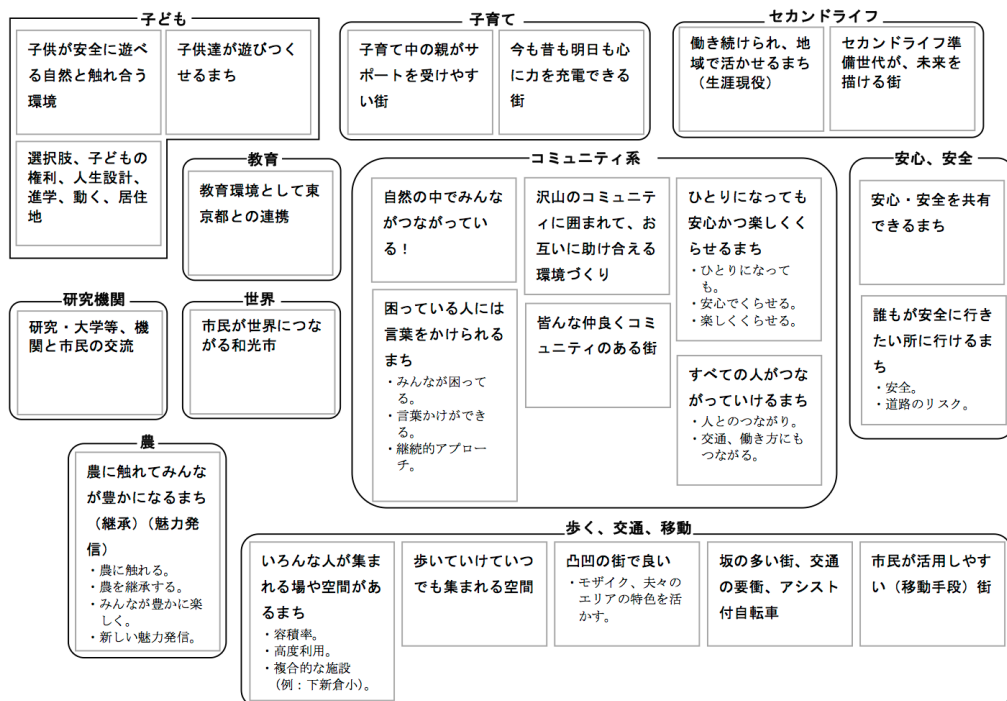
新しい魅力

【12】 まちづくり
③和光ブランドを強化して、観光PRや見所づくりに力を入れる。
・東京アグリパーク、農業体験を中心とし、レストラン、道の駅。

□第2回ワーク②（後半）の結果

実現したい生活像

和光 100 年まちづくり会議 第2回キーワードワーク
【ワーク② 和光市での生活・暮らしをイメージする】



目指すまちのキーワード

和光 100 年まちづくり会議 第2回キーワードワーク
【ワーク② 和光市での生活・暮らしをイメージする】

